

外国人介護人材支援事業

～本人と事業所の双方を支える定着支援～

介護人材不足が深刻化する中、外国人介護人材が安心して働き続けられる環境づくりを進めるため、外国人介護人材本人への交流・相談機会の提供と、受入事業所への研修・情報提供を実施し、育成・支援につなげます。



外国人介護人材交流会 【本人支援】

外国人介護人材が事業所を超えて交流し、悩みや課題を共有できる場を提供。文化交流を通じて多文化共生への理解を深め、定着支援につなげます。

方言講座
(出雲弁・石見弁)

おやつづくり
(各国のスイーツ)

茶話会・交流会
(情報交換・仲間づくり)



両輪で支える
定着支援

参加者
39名
2会場で開催

満足度
95.8%
「友人にすすめたい」と回答

参加者の声

- ✓ 友人ができて安心した
- ✓ 他施設・他国の仲間と交流できた
- ✓ 方言が仕事に役立つ
- ✓ 継続開催を希望する

外国人介護人材雇用セミナー 【事業所支援】

在留資格や受入れの留意点、県内事例の共有、グループワークを通じて、受け入れの不安を軽減し、事業所の理解と支援力の向上を図ります。

講義
(基礎知識)

事例発表
(県内事業所)

グループワーク
(課題共有)



参加者
45名
31事業所・法人

満足度
90%以上
(講義・GWともに)

参加者の声

- ✓ 制度や受け入れの理解が深まった
- ✓ 他事業所の工夫が参考になった
- ✓ グループワークで課題共有ができた

成果・効果

つながりの形成

本人同士の交流により安心感や仲間づくりが進み、定着意欲の向上につながりました。

受入れ理解の促進

セミナーで制度理解や課題共有が進み、受入れの不安軽減と支援力向上につながりました。

課題の明確化

アンケートから、定着に必要な支援ニーズが明確になり、今後の支援の方向性を整理できました。

アンケートから見た定着に必要な支援（主なニーズ）

- 日本語・会話支援（やさしい日本語／方言理解）
- 相談できる仲間・場（孤立防止）
- 生活面の支援（暮らし・移動・買い物等）
- 交流機会の継続（定期開催への期待）

私たちのメッセージ

外国人介護人材の定着には、「本人の頑張り」だけでなく、「地域や職場の支え」が欠かせません。
島根県人材センターは、本人支援と事業所支援の両面から、多文化共生の地域づくりを進め、外国人介護人材が地域の大切な担い手として活躍できるよう支援を続けていきます。

